

## 会議録：「第3回恵那市産業振興ビジョン戦略策定部会」

---

日時：令和3年8月25日（水曜日） 18：30～20：00

場所：オンライン開催

参加者：別紙参照

【検討部会】商業・観光・工業など市内の企業や団体の代表委員17名（内、2名欠席）、  
恵那市担当課職員6名 計23名

### 1. 開会

○商工課

### 2. ビジョンにおける政策の方向性についての説明（全体）

○商工課 恵那市産業振興ビジョン政策の方向性案により説明

これまでの2回の会議及び個別ヒアリングを基にビジョンにおける政策の方向性案を作成した。

「産業の現状」は第1回会議で市から示した統計からみる産業の現状のまとめ、「産業の現状」は委員の皆さんから頂いた現状と課題をキーワードとしてまとめたもの。

「強み・特徴・機会」は同じく委員の皆さんから頂いた強み・特徴に機会を加えたものになる。課題を克服し強みを生かし将来像の「稼ぐ力の強い、持続する地域産業の形成」を目指していくことになるが、それを達成するための手法として右側に6つの政策を掲げている。

将来像を達成するための稼ぐ力を意識した政策のアプローチの方法として、

「ENA's Specialty」をつくる、磨く としている。これは会議の中で委員の皆さんから多く意見のあった恵那市といえれば何か思いつかないというところから設定した。

重視する視点は世界的な潮流となっているSDGsとデジタル化、人材の育成・確保を掲げた。

下段中央の図は域外資金が入り、域内で資金を循環させるという域内経済の構図となるが、「稼ぐ」という将来像を意識し下記の3つのポイントに分けて政策の整理を行った

ポイント①：域外資金の獲得の強化

ポイント②：域内経済循環の促進

ポイント③：経営基盤の強化と人材の育成・確保

この政策の考え方に基づいた6つの政策の方向性と考えられる施策が

①デジタル技術を活用したものづくり産業の革新と産業競争力の向上による稼ぐ力の増強

☆考えられる施策

○IoTの導入・デジタル化の推進○EC取引、生産性の向上 等

②広域連携の促進による交流人口の拡大と資源の商品への転換による稼ぐ力の増強

☆考えられる施策

○観光の広域連携の促進○町の賑わいの創出、新商品開発及びブランド化、資源の商品化の促進 等

③地域経済の発展を支える企業集積の推進による稼ぐ力の増強

☆考えられる施策

○事業用地の確保○域内事業所の事業拡大への支援や企業誘致の推進 等

④新たな活力を生む創業支援と異業種交流、産産連携の促進による稼ぐ力の増強

☆考えられる施策

○創業へチャレンジしやすい環境整備○新たな取引先の発掘のため同業、異業種の交流の促進、連携、共創の推進 等

⑤事業承継の促進と地域に根ざす地場産業の経営基盤の確立と稼ぐ力の増強

☆考えられる施策

○事業承継の推進○経営改善等の相談機能の充実○地場産業のブランド力の向上 等

⑥次世代を担う産業人材の育成・確保と労働環境の改善による稼ぐ力の増強

☆考えられる施策

○児童・生徒に対するキャリア・産業教育と地場産業の魅力の発信○IT、クリエイティブ人材の育成 等

後ほど、6つの政策と施策について委員のみなさんから意見を伺いたいと思う。

産業振興ビジョンにおけるそれぞれの部会の役割として、この戦略策定部会は政策と施策を検討いただき、支援機関と行政で組織する戦略実施部会では施策と実施事業の入り口までを検討し、最終的な実施事業は行政で決めていく。

新型コロナの対応については、緊急的な対応はビジョン外で随時実施していく、またポストコロナやV字回復支援はビジョンの施策に反映して取り組んでいきたい。今後のスケジュールは10月に皆さんにビジョン素案を説明させていただき、その後親会議の産業振興会議に報告していきたい。

### 3. 政策の方向性についての意見（グループ）

#### Aグループ

○政策の方向性 1

・デジタル技術の導入は企業にとって重要だということは分かっている、どう取り組んでいいかわからないというのが正直なところ。大事だということは経営者は理解していると思うが、学ぶ機会を作るようなことがあれば有り難い。デジタル化は進めなければいけないところ。自分の業界にどう生かしていくかとか、DXというIT技術を使った取組みも遅れているので、そういうところから始めるのもいいと思う。

- ・学ぶ機会が必要。技術は他社でも持っていると思うが、どのように活用すればいいのか、また市外の事例でもあれば取り組みやすい。

#### ○政策の方向性 2

- ・道の駅や宿泊施設は広域連携の交流人口の拡大では大事なことなので、販促やITの活用で自分たちの会社や地域をアピールしていくのは重要だと思う。ただ、自社はその部分が弱いので、勉強しながら進めないといけないし、恵那市全体として市を売っていくことができればいい。
- ・まちのにぎわい、創出では、今は人が足りなくて、みんなが忙しい状況。地域の人たちから学びたいということもあるが、場がたくさんあるといいと思う。
- ・観光がキーワードになったとき、この後盛り上がってくるのはリニアだと思う。大きく人が動く。そのときに恵那市はどのような立ち位置で観光客を取り入れるのかをしっかりと考えないといけない。飛騨高山などにそのまま行ってしまうイメージがある。恵那に人が集まらない感じがする。それを防ぐために、恵那にいいものがあるとか、恵那にしかないものを作らないと、観光客は絶対来ない。リニアと明鉄をうまくつなげるとか、ここにしかないものを作らないと難しい。プランを考える必要がある。

#### ○政策の方向性 3

- ・ビジネスマッチングにおいては各企業でいいものを持っていると思う。組み合わせの仕方が重要。人同士の交流といったところから組み合わせが生まれると思う。
- ・新しい企業が入ってくると、既存の企業から人が抜けて悪影響があるということもあるが新陳代謝も必要なので、こういう動きも必要。併せて地域内の事業所の交流拡大を図ればビジネスチャンスや、儲かることが増えてくると思う。

#### ○政策の方向性 4

- ・商店街は店を閉めている人が多い。新しくやりたい人に場所を貸すなどのことができていない。新しくビジネスをする人にとっても中心市街地に場所がないという問題がある。補助金等の何らかのメリットを示し活用ができれば良い。そういう場所が集まるってことも重要。先進地では行政が買い取りやっているところもある。企画としてやってみても面白い。

#### ○政策の方向性 5

- ・地場産業のブランド力の向上では、地域限定でなにがあるか考えると、出てくるものは限られる。地域でという気持ちも大事だが、フロム恵那としてやっていかないといけない。東濃5市で広域に連携するのもいいと思う。地域では商店もどんどんなくなり、会社もなくなっていくという状況の中にいる。そういう現実を見ていかないといけない。

#### ○政策の方向性 6

- ・5の事業承継にも絡むが、直近の課題はここに集約されると思う。政策1~4に関することは、時間をかけて成果を出していくことだ。それに取り組むために、会社としての基盤が要るので、5、6はすごく大事だ。自社の認知度、知名度を高めることが大切。

○全体・重点的に取り組む必要があるもの

- ・SNSを活用してお客さんや求職者にアプローチしていくことが重要で、それで会社の事業の存在を知ってもらうことが第一だと思う。簡単には出来ないが、SNSなどを利用した知名度の向上を図り、人材の定着を図り、その上で長期的な施策に取り組んでいくしかないと思う。政策の方向性5、6のための1という感じがフィットする。デジタル技術を活用し地域の方に知ってもらい今後の基盤を作ることが大事だと思っている。1、5、6が重要で優先度は高いか。
- ・小売店の立場だと、ポイント2が重要になる。土岐に来年の秋イオンができる。東海エリアで一番大きいイオンになる。イオンは1店舗で500~700億円の売り上げがあると聞いている。相当数恵那にも影響がある。そのときに、魅力的なお店をどれだけ増やして恵那にお金を落としてもらえるかを重点的に考えないといけない。外で得たお金を外で使ったら同じこと。政策4、5を重点的に行った方が良い。恵那の中でお店を盛り上げるとか魅力的なものを作って恵那市の中でお金を消費する仕組みをもう少し強化しないと将来は厳しい状況になる。
- ・荒川コーディネーター 1~6まで全部できたらすばらしい町になる。しかしながら全部できるところはなかなかない。その中で恵那はどうやって勝っていくか。勝たないと稼ぐ力は強くない。それだけ魅力があるものにしないといけない。部一斉に取り組むのは不可能なため、それぞれ簡単にすぐできることはない。すぐできることと時間がかかることを、中長期や短期で考え順序立てて行う必要がある。関連性の高い項目もたくさんある。事業承継の促進は、高齢になって事業を閉めようとしている人がたくさんいるので、そこを継いでくれる若い人材を他の地域から呼び込めば一種の創業支援的になる。広域連携はやろうと思えばすぐできるかもしれない。高山が人気があるとすると、高山に行きたい人を利用して恵那が栄えるという厚かましさが必要。単独のまちで一人勝ちするのは難しい。広域連携は重要。デジタル技術、SDGsなどはやって当たり前になってくる。それをうまく利用する技術が大事。

**Bグループ**

○政策の方向性1

- ・内容は問題ないが、具体的にどう進めるのが課題。
- ・デジタル技術を活用したものづくり産業の活用となっているが、ものづくりに絞る必要があるのか。ものづくり産業以外でも生産性向上にデジタル技術は重要。HRなどの総務的な部分や業務の効率化はデジタル技術によって改善すべき部分だ。ものづくりという言葉はなくても良いと思う。

○政策の方向性2

- ・問題ない。
- ・内容は問題ないが、具体的にどうするかが難しい。各地域の広域連携と簡単に言ってもそれぞれ思いや特色があるので、そこをうまく一緒に出来れば良い。

### ○政策の方向性 3

- ・事業用地は、外から来る企業に対してか、市内の事業所に対してのものか。  
→両方ともになる。
- ・企業にも大小ある。個人で起業する人への支援は非常に大事。
- ・事業用地の確保とは、空き家の活用なども含まれるのか。  
→大きな括りでは含まれる。
- ・企業誘致の推進について、新たに大手企業が恵那市に入ってくると今まで自分のところにいた人材が取られてしまう。検討する余地があると思う。5年前に瑞浪の企業が来た際も恵那の工業団地から人が取られた。給料が高いということだった。誘致するのも、今までであった企業の人材が失われることが問題になる。人口が減っていく中で若い人が取られていくと企業には痛手になる。

### ○政策の方向性 4

- ・内容はすごく良い。若い人が新しい事業にチャレンジしやすい環境を整備するのは重要。特に、各地区、商店街で空き家が目立っているので空き店舗に入りやすい施策など具体的なことを考えていけたらいい。
- ・空き家等の活用はジバスクラム恵那としても取り組みたい課題の一つだ。移住定住と絡めることを課題として認識している。地域に溶け込むためのサポートのようところが地域任せになっているのが多いという印象がある。外の事業者を連れて来たけど地域になじめないがゆえに継続しなかったという例は恵那に限らずいくつもある。そこをサポートする視点は非常に重要だ。

### ○政策の方向性 5

- ・事業承継は恵那だと親族内承継が多いが、従業員承継やM&Aなど様々な事業承継があるので行政が紹介すれば次に繋がると思う。恵那市には残したい産業がある。人材についても若者は都会に行ってしまうという形で恵那の産業に関わるケースも減ってきている。地場産業を残すためにどのような方法があるのかを行政から伝えていただく機会があるといい。
- ・この内容で問題ない。
- ・恵那の魅力的な店舗やサービスが各地区にたくさんある。事業所支援機関として事業承継をうまく進められるようにサポートしていきたい。

### ○政策の方向性 6

- ・商工会議所青年部が実施するジュニエコが残念ながら中止になった。市として学校教育にかなり入っていくことが将来を見据えた恵那市にとって良いこと。ここはすごく力を入れてやっていきたい。

### ○全体・重点的に取り組む必要があるもの

- ・政策の方向性について2つ聞きたい。1つ目は、優先度は定めるのか。ビジョンの段階で優先度をつけるか。2つ目は、アプローチの方法で各事業者は恵那市の売りを作るために事業をやっているわけではない。恵那市のために何かはしたいが、基本的には各事業者が自社の売りを作ることが大前提にある。その集積が恵那の魅

力だと思う。マーケットに支持される恵那市の売りというところに違和感がある。マーケットに支持される各事業者の売りを作るというところを産業全体の方向性になると、施策に落とし込むときに具体的にしやすい。恵那ズスペシャリティーではなく、ワズスペシャリティー、誰かの「らしさ」、誰かのスペシャリティーの方がイメージとしては良いと思う。

- ・自社の事業からすれば2が重要だと思うが、一番時間をかけるべきだと思うのは6だ。教育面は、投資してすぐリターンがあるわけではないが、今の段階から長期的に取り組むべきことが多いと考える。第1優先が政策6で、その他が並列だ。
- ・全部大切だと思うが、短期的にできることと長期的にできることに分けると、バラバラになってくる。本来はSDGsが入ってくるが、すぐ出来ること、時間がかかることで順序立てし整理すると重要度も出てくると思う。
- ・恵那ズスペシャリティーの観点でみると、「今恵那市といえば何？」というのを全国の人に聞いてみて答えられるかという、想像がつかない。例えば政策5でそのようなサービスづくりやブランド力の向上というのもあるが、政策1ではイメージがしづらい。そのため恵那といえばこれと考えられるものが優先順位に上がってくると感じている。
- ・長期短期をしっかりと色付けして戦略的に考えていくことが必要か。教育には10年はかかるため長期的に見据えながら、現実として今日明日の問題として稼ぐ力を付けなければいけないという視点もあるため具体的な事業がないと判断が難しい。
- ・蟹江コーディネーター 考えられる施策なので、SDGsやDXといった言葉が世の中に知れ渡っているが、恵那市としてどういうことを推奨してどうやっていけばいいというところまで落とし込んだ方がより分かりやすい。

政策の方向性では、ポイント3が重要だと思う。ポイント①②を支えには人材の育成や確保は非常に重要な要素だと思う。企業誘致の推進は恵那市にとっては考えなければいけないことだと思う。域内の経済を拡大しようと思うと域外からの資金、資本が必要となるが、域内の労働者のことにも影響があるので慎重に考えるところもある。政策の6つはどれも非常に重要で、その中でも短期と長期があるので、その切り分けをすることも必要。

- ・企業誘致の推進することにより今ある市内企業から人材が取られ困るという話があったが、瑞浪市に新しい工場が来て人が取られた。それば中津、可児、多治見に工場が出来ても同じことが起こる。各地方自治体は人口減少を食い止めるため魅力ある地方自治体になりどうやって市民を獲得するかと闘っている状況だと思う。福祉や企業の生産活動のしやすい環境作り、税制優遇制度を設けて、その中で市民がどの自治体を選ぶかという、日本全体の人口が減って地方自治体同士が人口を奪い合っている状況が生まれている。そのようなことを考えると、政策の方向性3のように、どうせどこかで工場を作られてしまうなら、恵那市が積極的にこの辺一帯の人口が集まるような工場を作った方が、結果、恵那市の人口が増え活性化していくため企業誘致は進めた方が良いと思う。

- ・蟹江コーディネーター 考えられる施策なので、SDGsやDXといった言葉が世の中に知れ渡っているが、恵那市としてどういうことを推奨してどうやっていけばいいというところまで落とし込んだ方がより分かりやすい。

政策の方向性では、ポイント3が重要だと思う。ポイント①②を支えには人材の育成や確保は非常に重要な要素だと思う。企業誘致の推進は恵那市にとっては考えなければいけないことだと思う。域内の経済を拡大しようと思うと域外からの資金、資本が必要となるが、域内の労働者のことにも影響があるので慎重に考えるところもある。政策の6つはどれも非常に重要で、その中でも短期と長期があるので、その切り分けをすることも必要。

#### 4. 情報共有（全体）

各グループの意見を事務局で説明

#### 5. 次回検討部会の開催について

○商工課「この後、本日頂いた御意見を整理して10月に素案をお示しする。日時等の詳細は改めてご連絡する。本日の会議の内容で思いつくことがあれば志水までご連絡いただきたい。

今後、戦略実施部会を支援機関である会議所、商工会、観光協会において、施策部分を検討していく。」

#### 6. 閉会